

越奥羽道日記

特別
14
696
79



此記ハ丙辰復日、越真羽三ヶ國ニ賊兵起リテ恐多ク奉安
 震禁事既半年ニ及ビ又之ニヨリテ諸藩ニ
 勅命アリテ追討被作付尾藩モ列ニテ千賀^信立諸隊引
 卒ニ迅速繰出相成九月末孫鎮定ス右事件ヲ粗記ス者
 出兵ノ内集義隊ノ附屬夫ノ首夕几颯追某^{生國}四方正
 奔走ノ餘力眼前見聞ノ情態ヲ其儘ニ日記セテ奉
 志感^ハ元ニ絶タリ文綴^ハ虚實ヲ飾^ルキ^テ一編中^ニ顯^シ
 夕リ識^シ彼ガ志^ハ云々^ニ欲^シテ則^チ某ガ^{此者}孰^ク何^レ也^ニ
 誓^トナリテ^尾藩^中ニ^集義^隊中^ニ借^ヒテ^千時^明治^四年^一
 國^ノ去^ルト^云事^記集^義隊^中ニ^借ヒ^テ千^時明^治四^年
 辛未八月十日南^ニ志^向テ^軍ス

小等^信
 玉口^信文^信



予^ハ夜^四十^辰四月八日紙^後國^與板^川に^金津^留
 并^兵共^押来^リ乱^暴寸^計也^ハ白^州若^根分^家
 高^武萬^三千^石井^伊兵^部出^陣城^下に^於て^先手^取
 歩^兵軍^用金^津池^玉葉^お追^周達^兵に^依申^上
 掛^ケ并^町人^共に^乱暴^ニ及^ビり^何分^也
 板^川に^少人^に少^シ城^至多^ク捕^とる^上京^跡
 人^數も^少故^ニ多^ク指^合ニ^ある^を并^玉
 葉^津池^お追^周達^り町^人共^に金^三万^石周^達也
 右^ノ軍^用と^シ佐^州追^押也^ナ
 同^{十八}日^信列^隊山^城下^に同^百五^十人^に依^押也^ナ
 院^府掛^ケ乱^暴寸^計也^ハ友^軍又^と追^進也^信
 州^中野^陣屋^に尾^州千^賀信^八郎^様紙^後
 言^回尾^岡田^新由^若信^長板^川押^也

浪人共是之是て此花揚りて討合し有り浪人共
 双方討合致ししより歩兵浪人共官軍より討合ら
 れ跡なき氣放軍す致死人より救多有りい友
 軍方より死す死人より救多有り但し城下不致
 焼失す致し八分元散乱す但し是より春日山
 河原山若原山富樫山指名各々原大瀬將
 辺澤小古嶋以迎り討合致ししに右京京都
 西勒使より越後高田より討合有りい事
 四條大納言様 少附岩村清方少将
 但し京路より徳川作白以西大名元西連名在り
 尾張大納言様 加賀中納言様 長門少将
 薩摩少将様 越前少将様 村上少将様
 信濃代 上田信清少将 松平信賢少将
 主田信清少将 日新寺 丹波少将

内反強し 日新寺 大和守
 土佐守 内反志 上田守
 堀中守 三田守 正
 右へ身す十七日 薩摩 何れも 紙後路 西へ
 あり

閏四月八日

閏四月八日官軍より薩摩より薩長高田松代
 後陣とて尾列の敵を八中杯紙後志一人村
 中へ押寄せしついでに合陣 歩兵より雪峠と
 中島一陣有り 友軍より右へ寄る あり
 沢池と討合す責之より致す力此花揚りて討
 合し 双方より討合致しあり 薩長より
 留書道より山上大絶と討合 沢池と
 討合し責め捕えし 致す力此花揚りて討合し

一京都下紙後小谷川は里数凡そ二十里程あり
但し小谷川は紙後諸町より程数里

刻山 一里
柏崎 七里
新庄 三里
信濃川 初里

片貝 二里
源澤 三里半
関ヶ原 五里

典坂町 八里
地蔵堂 十一里
吉田町 十四里

信濃川 東より
板崎 七里
妙見 二里
長岡 四里

今町 七里
見附 九里
新庄 十一里

村雲 七里
小島村 六里
川原 七里

下古町 三里

東山 七里

出ヶ峰 三里
中谷 八里

多々 八里半
上小山 五里
石崎 八里

少部 五里
福山 八里
浪原 七里

大白川 十里
中不 五里

安田 四里
石崎村 五里
村上 四十一里

仲條 三十二里
肩崎 五里
海内 七十一里

石崎村 五里
海内 七十一里

死る員數多有り其上玉葉汝地ヲ攻む分
反りてをれりては日の戦ひ方す官軍
亦少く攻軍ス

六月二日

六月二日大崎合戦以州ありて二里程
北より官軍ありて碓氷守城ヲ守る
敵方攻軍
寸以州を奪むは軍寸同州を

同八日

同八日多分は合戦官軍方勝利同州を失ふ
同九日敵陣を興夜村に玉葉守城
由治道

同十日

同十日中造合戦敵山上に陣あり官軍方討
ふとて以州を攻むは山上より汝地守
り官軍方亦汝地を攻むは山上より汝地守
り官軍方亦汝地を攻むは山上より汝地守

山上より取巻は此所にて荒増一討取り候事
同所より焼る官軍方討免手負有之候敵
勢ハ打尾を去りて但一打尾と
申所ハ長岡牧野備前守持壹万石陣屋に坐し
此所ニ家老川井經之進守申者五百騎に立
籠る但一同所より半道程山へ出張り陣取り官
軍方ハ次谷松尾村多々村と名陣を以て同折
尾山に陣取り
市村隊 五果隊 長洲 飯田 飯山 高山
薩列 李代 李本
敵陣よりとく陣あり双方とも土信と後
是地より大砲を構へ日々汝地討合は

隊長とて吹谷陣石。同有村隊長陣丸。石峰
 多一开其味平馬隊隊長有
 同立日折尾陣より只一強馬を奪り加列の陣と
 目多とて飛込来り大音上り呼り我は長岡
 牧野徳助馬家中稲垣是を衛ら中者我
 以所多く付允致し隊長を見多くと太刀程
 をなして切て入加列勢も折れ付をうく稲
 垣一人と名を奪り我は切て入り其時
 折れ馬の沈むと多しと其折れを就其
 折れ其時多しと多しと其折れを就其
 加列勢稲垣を人し切て入られぬと止す者
 人もなく散れす稲垣大音上り呼り我は

うららと見えせらるる眞に我と思はん者ハ如て勝負
 せよと叫びたり切子多し人し多しと多しと多しと
 すさまじきありき其時加列隊長稲垣ケ
 清水池より其時多しと多しと多しと多しと
 恒も稲垣移れ多しと多しと多しと多しと
 多く付允す官軍才も多しと多しと多しと多しと
 て付允す多しと多しと多しと多しと多しと多しと
 一戦後諸君も多しと多しと多しと多しと多しと多しと
 小千谷守固 千賀と今守保

同州信濃川見附番所 青山ふたの村
 長岡 長列 同見張蓋
 後町 高山 同見張
 去代
 三白

半遠金

柏崎

登立峠

四列

薩長

四列

興板町

日見港

野陣

長根

三田

七月廿四日

同亦四日長長を押し之に合戦城下に長長が
 の代に諸の火とををりて折敷に大風を
 十五ヶ列一列子柳上りしと足し合戦の乃
 ろし昔ん君もたしく口くしり折敷に城を
 中軍より君陣を見をて切込りり友軍を
 薩長の由留つてと付れあをてをりひで強節
 此折敷を志しりくとはさのふとて今も此
 長岡城と石原を降しをすれりしとありを
 幸ひ切廻り無二五三に決死に付るを責まらり友
 軍もハフヒと付れぬと止すもせん人むなく散

同廿四日
廿六日

乱す北軍も長長勇ハ城を入り勝たすの道
 つて隊もあがり一子の官軍方と追討に付る
 と勇をいそいで追城を討ち官軍も折敷
 妙見すて引上りり一子の片貝浦相違云
 りり突川くも多田とあり見くるとは有
 せぬしげよし諸陣地一途進る折敷山
 吹雪也降る官軍も軍勢長岡石原
 されて無後の方意ありしと路に陣と引
 拂ひりり折敷陣より見るとんて官軍も陣
 拂ひりり追討も改をもと決死に付城を
 押かしあがり崩れ去りし官軍もぬを止す
 者一人もあらず福山少尉村美しと退きりり
 亦四百人止りて退く敵ハ友軍も惣征軍と

北へ中へいよし小千谷へ往て百千をもちて
 源後崎近の陣ありて同亦七の軍あり
 惣軍留長岡より押寄り一子小千谷より
 松崎妙見とて押寄る款ハ十日晴近
 治ま致ひしり尾別を陣とて集義隊
 津田隊千をもち小千谷隊とて押出
 毎の物々を其後町にすて去代留押出す
 国原名も長岡留押出さし毎は時長岡
 留去代留と致しと思ひ違ひ決地付
 毎の松代方をも止めりるもあつて
 毎の松代方をも止めりるもあつて
 隊長貝沼奉花けりて内身之同士
 討あり双方に分れりる松崎謀ちり謀ハ何事か

言をたはし小隊ハ一組國伴に引取らるる但し
 古軍才長岡城と名をもちて城ケ多る長岡
 留の陣ともせり古軍才押寄る毎の用意
 せし城下のり官軍才ハ十二重口重口石倉
 あり長岡留ハ官軍才一也とせん余と休む
 けり然薩長のめ勢ハ是の放軍とてあつて
 一時の急ありあり隔せんとの陣は如く決地
 中へ大刀後をもちて切込り官軍才の軍
 留薩長とせんを致れと我先と切込り
 一もの長岡留も防ちあくるんで一
 崩れりるを城の中より其強り大の打と

同き地を以て薩品と陣と目成て、
ケあり、双刀涉地、
上より、我、我、長園牧野、
原を以て、
足、
隊長、
一、
大、
龍、
と、
細、

あり、
一、
右、
全、
所、
同、

取し六ヶ所を押寄せし事ハ新浮橋一押寄
りし勢ハ新浮橋のくさるるを推しし事
米澤勢ハ全百八人歩兵百廿五人
百人漢も一(一)番場ノ出来大砲
一りの官軍方ハ三三三三三三
薩長勢ハ我先にと切込りり米澤勢ハ不叶と
思ひせん町家ノ大リ城ノ邊ノ
史軍方ハ三三三三三三三三三三
と追城ク多ク勢留ハ松ヶ崎
迄云りりりりりりりりりりりり
別家無りりりりりりりりりりりり
方々もめりりりりりりりりりりりり
一兵糧米玉葉沙地大化救多
異人爲内救多

七月廿四日

有るに中軍一勢所ハ細坂まつり
遊女ノ右相ベッヒ澤山ニ遊
同月甲子日ハ私々中軍方元陣
切別勢留後新勢留田須彌渡
夜ハ入勢留田城下(一)勢留込
田城を渡りし勢留田ハ市南使
中軍方多勢留田城を綱渡迄
新勢留田ハ方名溝口伯耆守
中軍方米澤勢留田城を米澤
攻せし事城を攻めし事米澤
勢留田と軍勢引連れ綱渡
町人集り人救凡廿五人
境也綱渡町人救凡廿五人

七月廿九日

右の口分の引越其より九の迄の各城と石巻
殿様は米津に陣をとりぬるのよしありしに
其方止りぬる存し中上ケりり且又たつて米津
一町ありぬるに恐入の城無塔の口もぬるに
去人十之幾の打をぬるに其より一町ありぬる
其方ぬるに米津より捕捕すりぬるに其より
陣系りぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬる
一回強首に合ふに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬる
りぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬる
七月廿九日新倉田留置軍の先陣は其方ぬるに
其方ぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬる

同日

同日廿日折尾浦系下り官軍方押せし中
尾列集義隊は其方ぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬる
拾里ぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬる
但多ぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬる
後留置人より其方ぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬる
負一人もあらずに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬる
引揚せり集義隊二千人に分ち追討す
八月三日夜丑系近左軍方其方ぬるに其方ぬるに其方ぬる
同日村松城下官軍押寄せぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬる
村松留置軍は其方ぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬる
其方ぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬる
先陣は其方ぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬるに其方ぬる

八月三日

同日

のりちりありて

一官軍方諸家より藩紙後迄より執免りて

長隊長 寺中 孝之 茂 森 三 分

時山直八 養直 諱 蔵

上田 謙 蔵

高橋 源 吾

無敵 幸之進

泰 音之進

江見 謙之輔

岡村 常 蔵

平野 達 蔵

岡嶋 榮 蔵

矢野 伴 兵衛

高橋 五郎 政行

熊利 惣 五郎

堀尾 六郎

吉川 道 輔

井上 三郎 正一

岡田 辰 蔵

長岡 三郎 綱重

吉田 喜三郎

吉崎 常太

寺岡 軍一 信秀

國重 直人 與芳

高橋 淳太 郎

右三十八人 榎崎 貞光

越後 小千谷 川

石井 証三郎

上野 東又十郎

堀内 孝一

半道 全 杉尾 吹谷 六 月 中 貞光

山口 鐵之輔

吉橋 宗之進

後友 酒之 信友 明

未民 省 作 兩 俱

邪田 岡 道 政 徳

小田 楳 吉 正 明

長 岩 田 録 三 平

伊 友 民 源

伊 友 民 源

伊 友 民 源

伊 友 民 源

伊 友 民 源

伊 友 民 源

伊 友 民 源

薩州 小千谷 目録 三 上 某 有 人

督 吉 九 平 治

中 村 源 三 輔

西郷宗次郎
吉田喜右衛門
矢田林之輔
中村治重
川添正平
龜澤惣八
有馬重九郎
山田清太郎
岩重尔之助
堀源左衛門
伊友彦之助
林善之輔
神戶休之助

村田長右衛門
和田兼右衛門
森彦平
永井惣太郎
椿招兵三郎
吉田次郎
宮本孫兵衛
児玉林五郎
赤鞆治郎
堀切喜輔
石神為之助
児玉治之助
石原金次郎

久保田玄仲
祝所正吉
高柳幸右衛門
川越亮治郎
隈石八治郎
中田吉右衛門
宮田友左衛門
同小平谷目治
右川正兵衛
酒々雄七郎
吉田治郎清親
小子吉極
福升太郎源信

長野仲之助
堀内平八
白石吉太郎
原漱友次郎
兼田清治郎
池田梅之輔
去本甚三郎
大内田玄仲
永井七郎和利
湯淺行平正茂

長州藩
同小
七月
八月
是致死

後田 謙高 源
 曾升 孫輔 高秀
 川太 深太郎 直一
 福田 儀作 忠之
 德永 永九 忠之
 吉村 盛輔 忠光
 石井 玄造 吉信
 治川 丑郎 路光
 服部 八十郎 祐義
 羽二 又九 正路
 牛内 作二郎 自光
 草刈 右三 其雄
 江川 市丸 忠之

毛利 寅太郎
 下田 小太郎 正
 北田 北治郎 源雄
 長網 瀧五郎 好文
 三浦 平浦 尚民
 礮本 誠造 信尚
 横山 猪太郎 行賢
 上田 龜太郎 政恭
 張 司馬 誠
 依方 内藏之允 信安
 言村 助之進 重道
 北村 熊大 如勝 吉

三井 強治郎 清政
 吉村 寅吉
 西山 西輔

長田 秀之進 秀雄
 里川 本治 吉孝
 田中 浩然
 田 官 泰 彦 郎

吉村 孫多中
 本川 謙輔
 吉 國 晃 吉
 吉 國 晃 吉

杉尾 推見 守 兼 有

長國書

松松清方中

吉国兼八

隅田摩治中

神川誓庵

中島勇造

落山徳治中

酒井清輔

○倉橋親光中

横山市治中

大村孫七

石反清忠中

新登田藩

万平野保中

柿松勘治中

源清兼治

中垣徳七

風乃吉立右馬

横山徳之助

石岩要造

白木貞吉

成田祿禎治中

為保中

山本忠輔

新登田藩

本野保中

澁谷信之進

草尾治中

中武大右衛門

中垣想中

海色安中

中川泰輔

徳刀金吾

崩玄中

本野保中

本野保中

本野保中

本野保中

本野保中

田宮嘉之輔 延敏三七中

宍田源吉馬 米津秀輔

山下九八中 吉国八治中

以外親死々者凡 人宛有り

之ハ但シ是迄 就後路ハ孔入

會共藩 米蔵 庄内蔵

歩兵 小午谷町 佐兵

初治 小方 百人 総

御身 丹三 國法 静

所上 官と云々 神

あり 之の 之 總

残れ 之

山之内 池十中

柳川系中

柳川系中

柳川系中

柳川系中

柳川系中

柳川系中

柳川系中

柳川系中

柳川系中

柳川系中

柳川系中

柳川系中

柳川系中

柳川系中

柳川系中

柳川系中

柳川系中



1872

